

静岡県御前崎市

文化財年報 XVI

令和元年度



2021

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財(絵画)「千羽の鶴」

静岡県御前崎市

文化財年報 XIV

令和元年度

2021

御前崎市教育委員会



写真 1 市指定有形文化財「千羽の鶴」保存修復後



写真 2 市指定有形文化財「千羽の鶴」保存修復前



1 標柱の修繕前



2 標柱の修繕後

写真3 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」標柱の修繕

序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで100箇所以上の様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値によって豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで令和元年度も下記のように文化財保護事業を行いました。

つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、令和元年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財試掘調査2件(宮下遺跡・新野川南遺跡)
- 埋蔵文化財工事立会2件(南谷遺跡・新野川南)
- 出土遺物整理事業(過去に実施した発掘調査写真の整理)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の現状変更
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の維持の措置
- 市指定有形文化財「千羽の鶴」の保存修復についての補助事業
- 比木賀茂神社社叢標柱修繕工事
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」での文化財防火訓練の開催(令和2年1月27日)
- 埋蔵文化財出張授業(浜岡東小学校PTA主催「東っ子まつり」での火起こし体験・勾玉づくり体験)
- 市内イベントにおける原始体験学習ブースの開設(御前崎市大産業まつり)
- 御前崎市文化財講座(朝比奈・比木地区)の開催
- 静岡県埋蔵文化財センター巡回展共催事業の開催
- 高天神城をめぐる武田系城砦群の刊行
- 御前崎市古代史講演会の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し
- 御前崎のウミガメ産卵観察会の開催
- 御前崎のウミガメ放流観察会の開催

令和3年1月20日

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

例 言

1 本書は、令和元年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。

2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。

3 令和元年度に試掘調査を実施した宮下遺跡、新野川南遺跡の試掘報告書を本年報に掲載した。

4 試掘調査の体制は、次のとおりである。

調査主体 御前崎市教育委員会

5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。

ウミガメ保護監視員 高田 正義（通算 23 年目）
大澤 茂美（通算 19 年目）
良知 正美（通算 13 年目）
澤部 春市（通算 7 年目）
中田 豊（通算 5 年目）
早山 彰夫（通算 4 年目）
増田 均（通算 3 年目）
横山 俊明（通算 1 年目）

6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。

教 育 長 河原崎 全

教 育 部 長 長尾 智生(令和 2 年 3 月 31 日まで)
長尾 詔司(令和 2 年 4 月 1 日から)

社会教育課長 長尾 詔司(令和 2 年 3 月 31 日まで)
小野田 明人(令和 2 年 4 月 1 日から)

芸 術 文 化 係 村本 薫

伊藤 弘亮(令和 2 年 3 月 31 日まで)
鈴木 清嗣(令和 2 年 4 月 1 日から)
松井 佳穂(令和 2 年 3 月 31 日まで)

7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 埋蔵文化財調査 1～4 村本 薫

II 文化財保護・管理 1 松井佳穂 2～7 村本 薫

III 文化財活用啓蒙活動 1～9 村本 薫

IV 指定文化財一覧表 V 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫

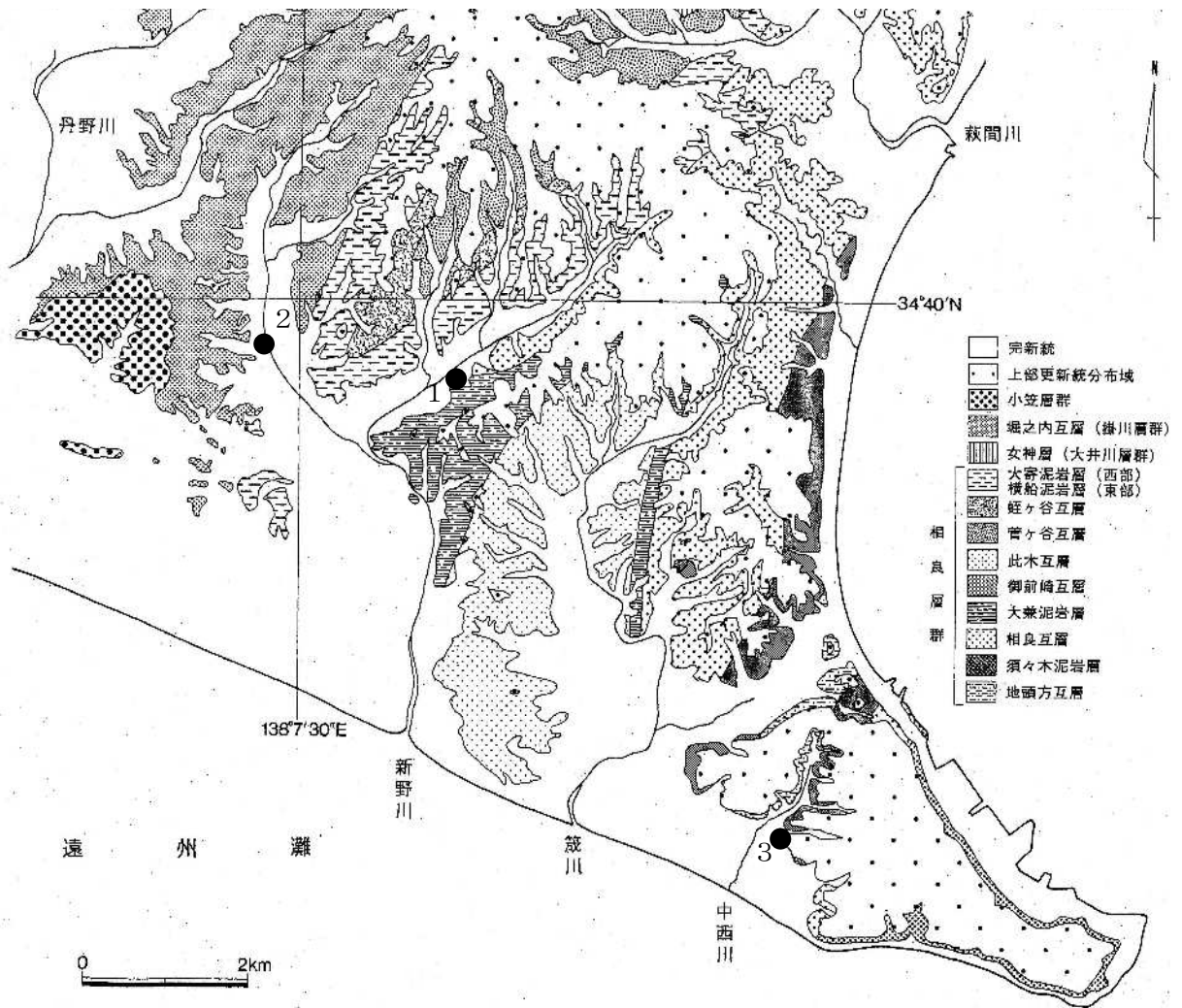
8 本書に収録した図、写真はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

目 次

巻頭図版
序 文
例 言
目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	宮下遺跡調査報告書	2
3	新野川南遺跡試掘調査報告書	6
4	出土遺物整理事業	10
II	文化財保護・管理	11
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	11
2	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の現状変更	38
3	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更	41
4	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の維持の措置	42
5	市指定有形文化財「千羽の鶴」の保存修復についての補助事業	43
6	文化財看板の修繕工事	56
7	文化財防火デー	57
III	文化財活用・啓発活動	58
1	埋蔵文化財出張授業	58
2	市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設	59
3	御前崎市文化財講座	60
4	静岡県埋蔵文化財センター巡回展共催事業の開催	62
5	高天神城をめぐる武田系城砦群の刊行	64
6	御前崎市古代史講演会の開催	64
7	歴史民俗資料の受領	65
8	写真資料の利用	68
9	歴史民俗資料等の貸出	69
IV	指定文化財一覧	71
V	文化財関係刊行図書一覧	72

御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡の位置



埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

1 南谷遺跡

2 新野川南遺跡

3 宮下遺跡

I 埋蔵文化財調査

1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、太陽光発電施設設置工事や個人住宅建替工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、試掘調査・工事立会を実施した。

試掘調査は、現地を詳細に踏査するとともに試掘坑を設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は下表に示す、2件の試掘調査と2件の工事立会を実施した。

第1表 令和元年度 市内遺跡試掘調査・工事立会実施遺跡一覧表

No.	遺跡名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要
1	新野川南遺跡	御前崎市 新野字中尾	太陽光発電 施設設置工 事	株式会社 サニックス	R元. 12. 5	試掘調査 12㎡ (試掘坑2カ所) 遺構・遺物未発見
2	宮下遺跡	御前崎市 白羽字宮下	土地の売買	個人	R2. 2. 20	試掘調査 8.25㎡ 遺構・遺物未発見
3	南谷遺跡	御前崎市 下朝比奈字 誰政	個人住宅新 築工事	個人	R元. 7. 24	工事立会206.197㎡ 遺構・遺物未発見
4	新野川南遺跡	御前崎市 新野字中尾	太陽光発電 施設設置工 事	株式会社 サニックス	R2. 3. 2	工事立会 984㎡ 遺構・遺物未発見



写真1 南谷遺跡工事立会



写真2 新野川南工事立会

2 宮下遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市白羽字 3458、3513-16
調査主体者 御前崎市教育委員会
調査担当者 社会教育課 村本 薫
調査面積 8.25 m²(試掘坑2箇所)
確認調査期間 令和2年2月20日
調査目的 土地の売買に伴う試掘調査



第1図 遺跡の位置 (1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

令和元年11月に株式会社あじはま企画の担当者より、土地の売買(以下、当該地という)に伴う文化財の所在の有無についての照会があった。

照会のあった当該地の文化財について現地踏査や遺跡地図及び文献資料の確認を実施した結果、土器や石器などの遺物は発見されなかったが、当該地の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地である宮下南遺跡に位置していることが判明した。

宮下遺跡については、御前崎町史(通史編)によると磨製石斧が出土しており、弥生時代の遺跡とされているが、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

令和元年11月14日付で個人の土地所有者より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」と「発掘調査承諾書」が提出された。そのため、令和2年2月18日付御教社第186号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法99条の1に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和2年2月20日に宮下遺跡内の御前崎市白羽3458番地に1.5×1.5m、御前崎市白羽3513番地の16に1.5m×4mの試掘坑をそれぞれ1箇所ずつ設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

(2) 位置と環境

宮下遺跡は大原川・中西川流域の神子山から平地に降りる途中の丘陵上に立地している。この宮下遺跡のように神子山の周囲に弥生時代と思われる遺跡が集中しており、台地から平地への境界付近に分布している。

昭和33年発行の『御前崎町の文化財—資料その1—』「古代の遺跡」の中で、御前崎地域で最初の考古学研究者である高山建吉氏が、白羽神社付近から磨製石斧と土器片の採集をしていたことが記されている。宮下遺跡は、白羽神社の北側に所在していることから、この白羽神社付近で採集された弥生時代の遺物が現在の宮下遺跡から出土したものである可能性が高いと思われる。

白羽地区の神子山周辺には、宮下遺跡以外にも産兵山遺跡、神子八幡神社遺跡、牛飼遺跡、道田遺跡、石原遺跡、白羽神社境内遺跡などの弥生から古墳時代の遺物散布地の遺跡が知られている。石原遺跡からは、弥生時代の小型偏平片刃石斧が採集されている。

この他に、白羽地区の弥生遺跡としては、台地上にある新谷遺跡が注目される。詳細は不明であるが、道路工事の際に住居跡らしきものが発見されたと言われており、弥生土器の破片が出土し、

その内3点の土器が復元されている。出土した弥生土器は弥生時代中期後半に位置付けられる細頸の壺の口縁部と底部及び口径26cmの甕である。

(3) 調査概要

① 調査方法

試掘調査は、御前崎市白羽3458番地に1.5×1.5m、御前崎市白羽3513番地の16に1.5m×4mの試掘坑をそれぞれ1箇所ずつ設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホー0.15級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した(基本層序については②のとおりである)。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

② 基本層序

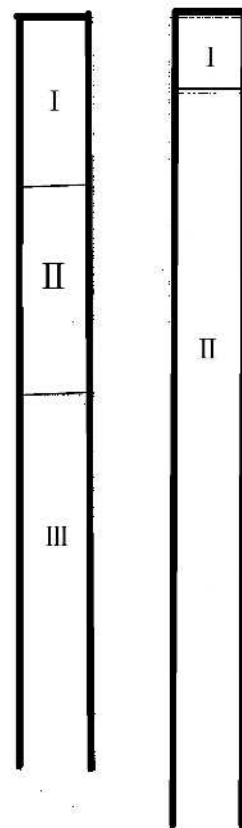
試掘坑1

- I層 黒褐色砂層(表土) 砂層に多量の木の根が混入。やわらかい。
- II層 灰白色粘土層 1mm以下の細かい砂粒で構成される。やわらかくもろい。木の根が少量混入。
- III層 黒色砂層 1mm以下の細かい砂粒で構成される。やわらかくもろい。

試掘坑2

- I層 明褐色粘土層 草の根が少量混入。やわらかくもろい。
- II層 暗青褐色粘土層 1mm以下の細かい砂粒で構成される。やわらかくもろい。

試掘坑1 (南壁) 試掘坑2 (北壁)



(4) まとめ

今回の試掘調査では、土地の売買に伴う宮下遺跡の試掘調査を実施した。

その結果、試掘坑1が2.0m、試掘坑2が2.3m掘削したが、両試掘坑とも遺物が出土せず、遺物包含層や遺構は検出されなかった。

試掘坑1・2ともすべて砂層であることから、砂丘のように砂がたまりやすい土地であったことが判明した。

なお、白羽地区の地名を調査した結果、宮下遺跡の南側には、砂原や砂子などの地名があることから、地名からも砂が多い土地であることが分かる。

第2図 土層柱状図 (S=1/20)



第3図 宮下遺跡試掘調査試掘坑配置図



1 試掘坑 1 掘削着手風景



2 試掘坑 1 完掘状況



3 試掘坑 1 南壁土層断面



4 試掘坑 2 掘削着手風景



5 試掘坑 2 完掘状況



6 試掘坑 2 北壁土層断面

写真 3 宮下遺跡試掘調査

3 新野川南遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市新野 842-2
調査主体者 御前崎市教育委員会
調査担当者 社会教育課 村本 薫
調査面積 12 m²(試掘坑 2 箇所)
確認調査期間 令和元年 12 月 5 日
調査目的 太陽光発電事業に伴う
試掘調査



第4図 遺跡の位置 (1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

令和元年 11 月 17 日付で株式会社サニックス富士営業所より、電話で太陽光発電事業予定地(以下、当該地という)における文化財の所在の有無についての照会があった。

それに基づき、当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である新野川南遺跡に位置していることが判明した。また、今回実施した当該地の現地踏査では土器や石器などの遺物は発見されなかったが、昭和 45 年に新野川南遺跡内に所在する新野川の改修工事中に古墳時代の 6 世紀前半頃から 9 世紀の平安時代の土師器や須恵器、平安時代(9 世紀頃)の灰釉陶器、12 世紀後半から 13 世紀の鎌倉時代の山茶碗が出土している。

新野川南遺跡については、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

令和元年 11 月 18 日付で株式会社サニックス富士営業所より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」が提出された。また、土地占有者より「発掘調査承諾書」の提出があったことから、令和元年 12 月 4 日付御教社第 154 号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和元年 12 月 5 日に新野川南遺跡内の太陽光発電事業予定地に約 2 m × 3 m の試掘坑を 2 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

(2) 位置と環境(第3図)

新野川南遺跡は牧ノ原台地の南端を開析して南流する新野川が作った新野地区中央部付近の新野川両岸に広がっている。古墳時代後期(6 世紀前半頃)、奈良時代(8 世紀頃)、平安時代(9 世紀頃)と鎌倉時代(12 世紀後半から 13 世紀頃)の遺跡である。

平成 18 年 3 月に御前崎市が発行した「浜岡町史(資料編) 考古」では、沖積低地に立地し、かなり広範囲にわたるようであることから、新野地区の基となる 6 世紀以降の古代集落跡と推定されている。

(3) 調査概要

① 調査方法

試掘調査は、太陽光発電事業予定地の南東側に1箇所と北西側に1箇所の合計2箇所に試掘坑(2m×3m)を設定して実施した。

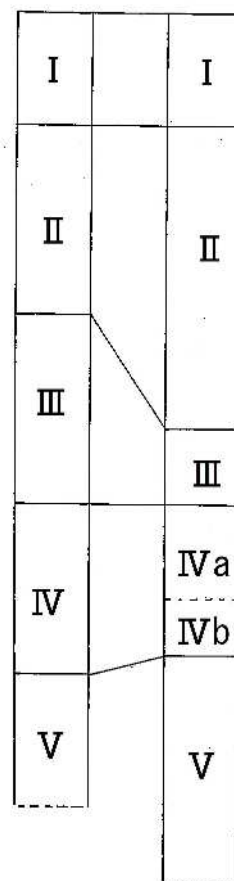
試掘坑の掘削は、主に重機(バックホウ 0.15 級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した(基本層序については②のとおりである)。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

② 基本層序(第5図)

I層	褐色土層(盛土)	草の根が多量に混入。ややしまり有。
II層	明褐色粘土層(盛土)	試掘坑1には白色の電気ソケットの破片、試掘坑2にはレンガやゴムの破片等が混入している。鉄分が多量に混入し、やや締まり有。
III層	明褐色粘土層	縦長の管鉄が多量に混入。やわらかく保水性あり。
IV層	暗青褐色粘土層	やわらかく保水性あり。
V層	暗褐色粘土層	柔らかく保水性あり。

試掘坑1 試掘坑2
東壁) (北壁)



(4) まとめ

今回の試掘調査では、新野川南遺跡の新野川右岸に予定されている太陽光発電事業予定地に試掘坑を2箇所設定して試掘調査を実施した。その結果、両試掘坑とも遺物が出土せず、遺物包含層や以降は検出されなかった。

試掘坑1・2ともIII層の明褐色粘土層に縦長の管鉄が多量に見られることから、旧水田の耕作層と判断される。この旧水田をI層とII層で2回に分けて埋め立てていることが判明した。

今回の試掘調査は、試掘坑1が2.1m、試掘坑2が2.3m掘削したが、遺物は出土しなかった。

新野川南遺跡から以前に遺物が採集されたのは、新野川の河川改修の時であり、現在の新野川は今回の試掘調査で掘削した深さよりも深い所に新野川の川底がある。試掘坑1・2で掘削した層よりもさらに深い層に遺物包含層が存在していることも想定されるため、今回の試掘調査では遺物が出土しなかった可能性がある。

第5図 土層柱状図
(S=1/20)



1 試掘調査前全景



2 試掘坑 1 掘削風景



3 試掘坑 1 完掘状況



4 試掘坑 1 東壁土層断面

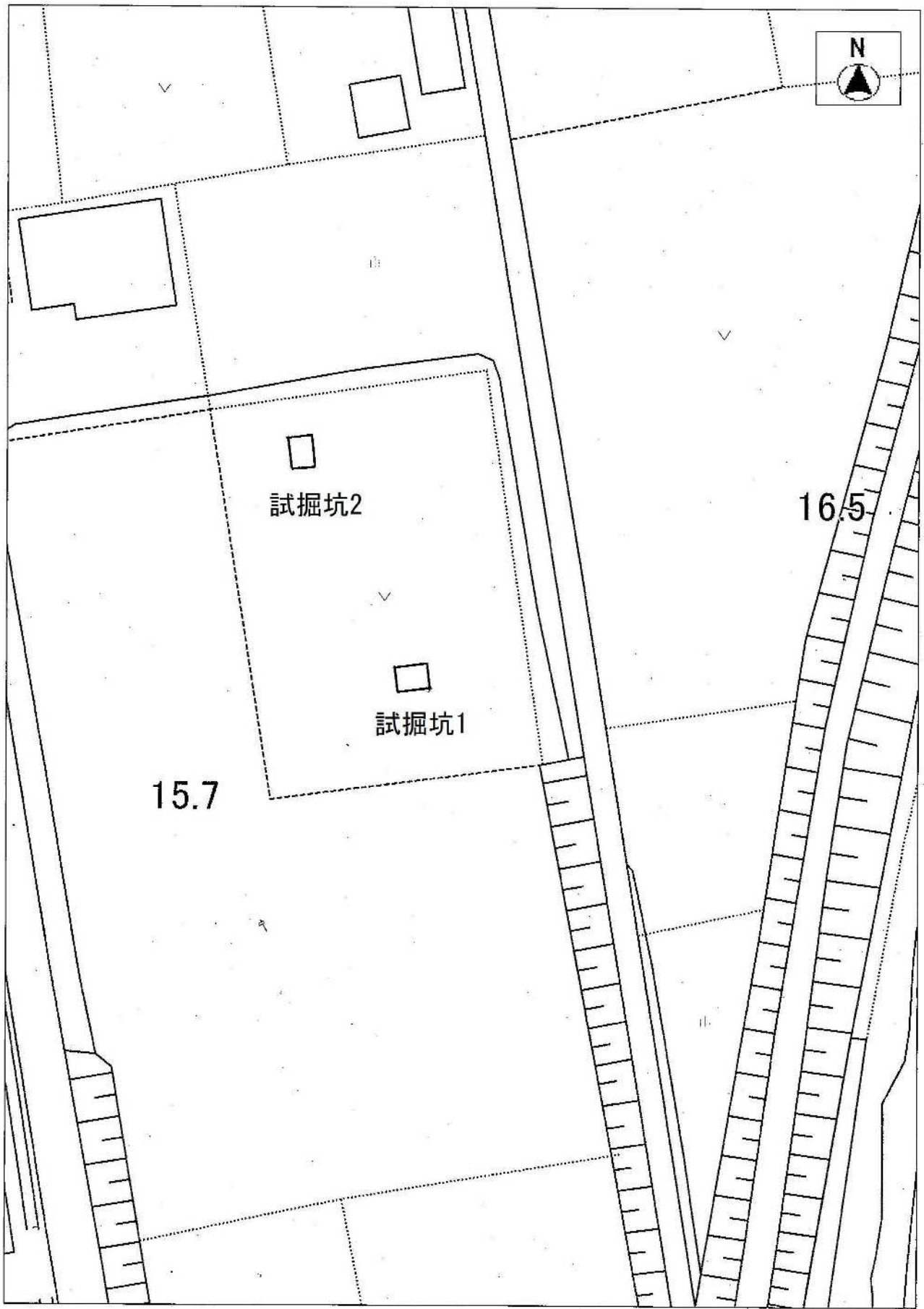


5 試掘坑 1 埋め戻し風景



6 試掘坑 2 調査前全景

写真 4 新野川南遺跡試掘調査 1



第6図 新野川南遺跡試掘調査試掘坑配置図



1 試掘坑 2 掘削風景



2 試掘坑 2 完掘状況



3 試掘坑 2 北壁土層断面



4 試掘坑 2 埋め戻し風景

写真 5 新野川南遺跡試掘調査 2

4 出土遺物整理事業

市内遺跡の整理作業は、作業員 1 名で昨年度に引き続き、過去に実施した埋蔵文化財発掘調査写真の再整理及び令和元年度に試掘調査を実施した新野川南遺跡、宮下遺跡の図面類の整理作業などを実施した。過去に実施した埋蔵文化財発掘調査写真の再整理は、年間を通じて行い、令和元年 12 月 5 日に試掘調査を実施した新野川南遺跡の図面類の製作業は、12 月上旬に実施した。

令和 2 年 2 月 20 日に試掘調査を実施した宮下遺跡の図面類の製作業は、2 月下旬に実施した。

II 文化財保護・管理

1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

(1) 調査報告

① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。また、10月に日本列島に上陸した台風19号の影響で、流木やごみなど、大量の漂着物が第1区に流れ着いた。幸いにもウミガメの上陸・産卵期間ではなかったため、ウミガメに直接の影響は出ていないが、次年度以後の海岸保全に大きな課題を残すことになった。

浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度も、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

令和元年度においては、アカウミガメの上陸頭数・産卵個数・ふ化率の全てが昨年の半数以下に下回った。産卵個数については、1,652個と過去最低であった平成27年度に次いで2番目に少ない。ウミガメの上陸頭数や産卵個数の増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(高田 正義)
第2区	元	根	から	芹	沢 (大澤 茂美)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(大澤 茂美)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆	川 (横山 俊明)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(中田 豊)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(早馬 彰夫)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(増田 均)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視
- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

④ 令和元年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（8月5日開始）

<4月>

17日 ウミガメ保護監視員会議

<5月>

8日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）

13日 子亀供養祭

15日 ウミガメ保護活動開始

20日 アカウミガメ初上陸・初産卵【5/20 薄原 135個】

<7月>

9日 王滝中学校ウミガメ学習会（生徒6名・引率職員3名参加）

18日 服織西小学校ウミガメ学習会（生徒39名・引率職員5名参加）

21～28日 ウミガメ産卵観察会（参加者160名）実施5日 期間中上陸確認1頭

<8月>

8日 ウミガメ初ふ化【5/20 薄原 産卵分32頭】

17～22日 団体子ガメ放流観察会 3団体126名

23～25日 一般子ガメ放流観察会 ふ化数が少なく中止

<9月>

10日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）

<10月>

31日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

<3月>

4日 視察研修（愛知県知多郡美浜町 南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国）
コロナウイルス感染防止のため中止

⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

令和元年度における御前崎市のアカウミガメ上陸・産卵・ふ化状況については、集計表を掲載する。



1 R元.5.8 亀バックホーム大作戦1



2 R元.5.8 亀バックホーム大作戦2



3 R元.5.13 子亀供養祭



4 R元.5.20 初産卵採捕 135個



5 R元.7.9 王滝中学校ウミガメ学習会



6 R元.7.18 服織西勉強会

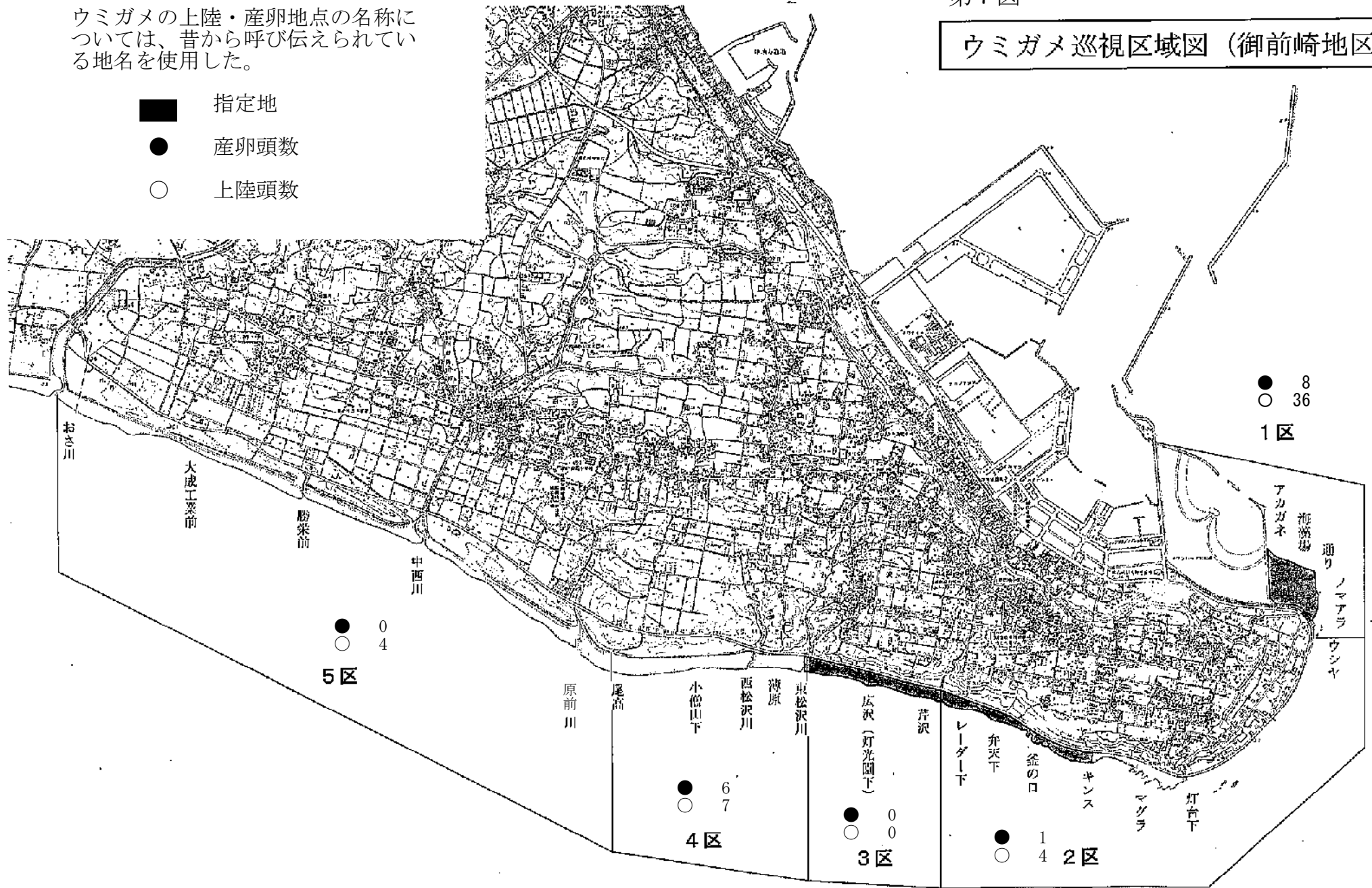
写真6 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子 1

第7図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)

ウミガメの上陸・産卵地点の名称については、昔から呼び伝えられている地名を使用した。

- 指定地
- 産卵頭数
- 上陸頭数



第2表

令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20									1	1	135				1	1	135	
21																		
22																		
23	1														1			
24																		
25																		
26	1	1	116												1	1	116	
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	2	1	116						1	1	135				3	2	251	
総計	2	1	116						1	1	135				3	2	251	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第3表
令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4	1															1		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12	1															1		
13	1															1		
14																		
15																		
16																		
17																		
18													1			1		
19									1	1	119					1	1	119
20																		
21	1	1	108													1	1	108
22													1			1		
23																		
24																		
25				1	1	123										1	1	123
26									1	1	98					1	1	98
27																		
28																		
29																		
30																		
月計	4	1	108	1	1	123			2	2	217	2			9	4	448	
総計	6	2	224	1	1	123			3	3	352	2			12	6	699	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第4表

令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	1														1			
2																		
3																		
4																		
5	1														1			
6																		
7																		
8																		
9												1			1			
10																		
11	1			1					1	1	115				3	1	115	
12				1					1	1	126	1			3	1	126	
13	1	1	76												1	1	76	
14																		
15	1														1			
16																		
17	1														1			
18																		
19	1														1			
20	1	1	173						1						2	1	173	
21	1	1	128												1	1	128	
22																		
23																		
24	1	1	139												1	1	139	
25	1														1			
26									1	1	115				1	1	115	
27	2	1	126												2	1	126	
28																		
29	1	1	108												1	1	108	
30																		
31																		
月計	14	6	750	2					4	3	356	2			22	9	1,106	
総計	20	8	974	3	1	123			7	6	708	4			34	15	1,805	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第5表
令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	2															2		
2																		
3	2															2		
4				1												1		
5	2															2		
6	2															2		
7	2															2		
8	3															3		
9																		
10	1															1		
11	1															1		
12																		
13	1															1		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	16			1												17		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総計	36	8	974	4	1	123				7	6	708	4			51	15	1,805

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

令和元年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月20日	薄原	135	8月8日	32		80	40.00%	第4区:朝
				8月8日	1		80		第4区:夜
				8月9日	5		81		第4区:朝
				8月9日	1		81		第4区:夜
				8月11日	8		83		第4区:朝
				8月15日	4		87		第4区:夜
				8月22日	2		94		第4区:朝
				8月24日	1		96		第4区:夜
			計	54	0				
2	5月26日	アカガネ	116					0.00%	第1区:
				計	0	0			
3	6月19日	小僧山	119	8月24日	2		66	11.76%	第4区:朝
				8月26日	12		68		第4区:朝
					計	14	0		
4	6月21日	アカガネ	108	8月27日	1		67	1.85%	第1区:夜
				9月1日	1		72		第1区:夜
					計	2	0		
5	6月25日	灯台下	123	8月27日	65		63	53.65%	第2区:朝
				9月3日	1		70		第2区:朝
					計	66	0		
6	6月26日	小僧山	98					0.00%	第4区:
				計	0	0			
7	7月11日	尾高	115	9月2日	87		53	76.52%	第4区:朝
				9月9日	1		60		第4区:夜
					計	88	0		
8	7月12日	小僧山	126	9月4日	32		54	25.39%	第4区:朝
					計	32	0		
9	7月13日	通り	76					0.00%	第1区:
				計	0	0			
10	7月20日	通り	173	9月5日	107		47	69.36%	第1区:夜
				9月7日	2		49		第1区:朝
				9月8日	10		50		第1区:朝
				9月15日	1		57		第1区:朝
					計	120	0		
11	7月21日	アカガネ	128	9月9日	46		50	36.71%	第1区:朝
				9月9日	1		50		第1区:夜
					計	47	0		
12	7月24日	通り	139	9月9日	93		47	68.34%	第1区:朝
				9月12日	2		50		第1区:夜
					計	95	0		
13	7月26日	小僧山	115	9月12日	100		47	86.95%	第4区:朝
				計	100	0			
14	7月27日	海藻場	126					0.00%	第1区:
				計	0	0			
15	7月29日	海藻場	108	9月13日	81		46	75.00%	第1区:夜
					計	81	0		
合計			1,805		699	0	64.74	38.73%	
平均									

放流頭数(御小20匹除く)	679
0%巢を除いたふ化率	50.32%

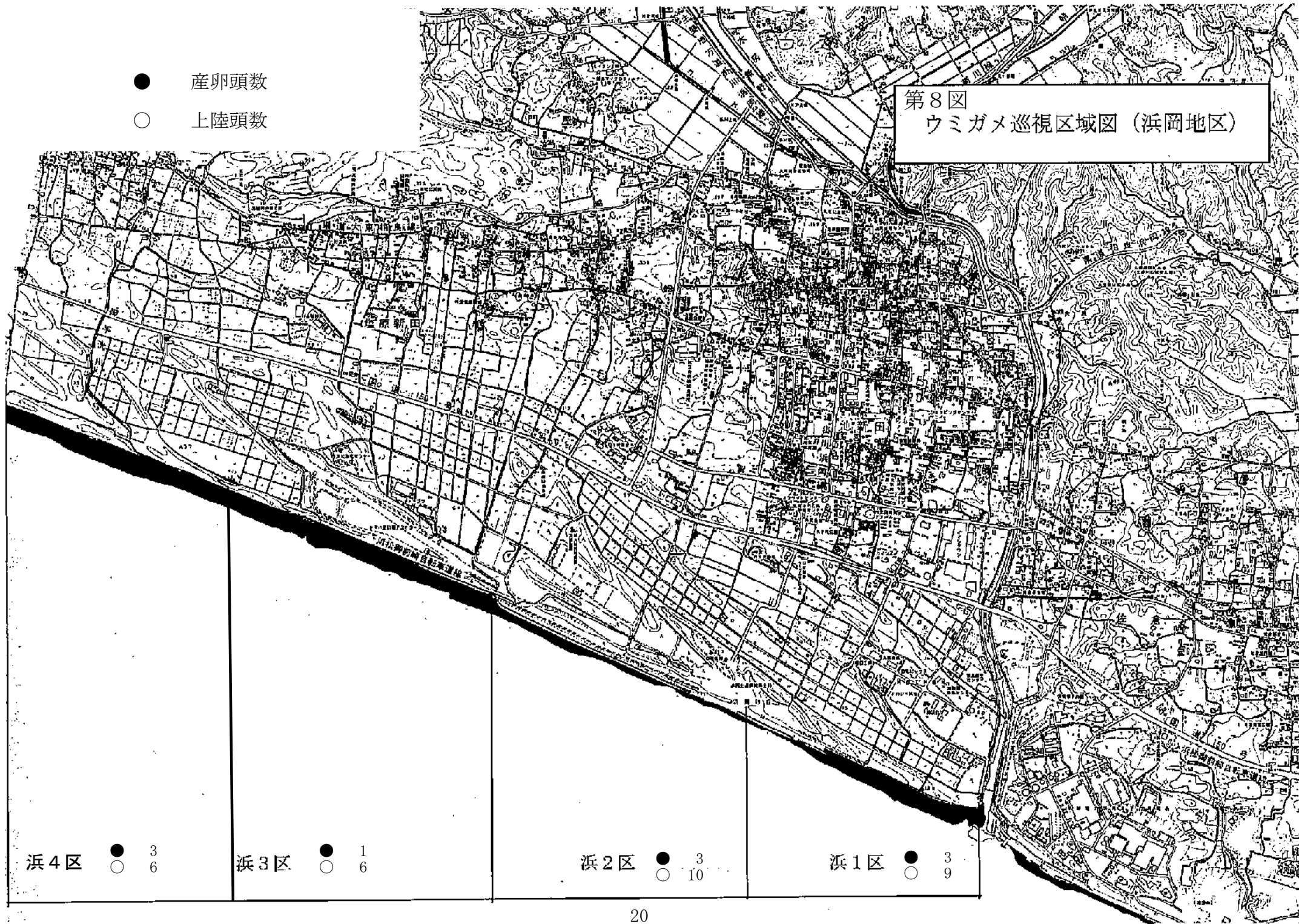
最大ふ化率	86.95%
最小ふ化率	11.76%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	1	6.67%	115	6.37%
70%以上80%未満	2	13.33%	223	12.35%
60%以上70%未満	2	13.33%	312	17.29%
50%以上60%未満	1	6.67%	123	6.81%
40%以上50%未満	1	6.67%	135	7.48%
30%以上40%未満	1	6.67%	128	7.09%
20%以上30%未満	1	6.67%	126	6.98%
10%以上20%未満	1	6.67%	119	6.59%
1%以上10%未満	1	6.67%	108	5.98%
0%	4	26.67%	416	23.05%
計	15	100.02%	1,805	99.99%

区名	巢数
第1区	8
第2区	1
第3区	0
第4区	6
第5区	0
計	15

● 産卵頭数
○ 上陸頭数

第8図
ウミガメ巡視区域図（浜岡地区）



浜4区 ● 3
○ 6

浜3区 ● 1
○ 6

浜2区 ● 3
○ 10

浜1区 ● 3
○ 9

第7表

令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3	1	1	131										1	1	131
4															
5															
6															
7															
8	1												1		
9	1												1		
10				1									1		
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計	3	1	131	1									4	1	131
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	9	3	306	10	3	380	6	1	128	6	3	370	31	10	1,184

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第8表

令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22									1				1		
23															
24															
25															
26	1	1	115										1	1	115
27															
28															
29															
30															
31															
月計	1	1	115						1				2	1	115
総計	1	1	115						1				2	1	115

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第9表
令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計			
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19									1	1	115		1	1	115	
20				1					1	1	120		2	1	120	
21																
22																
23							1	1	128				1	1	128	
24																
25																
26																
27																
28																
29				1									1			
30				1	1	125							1	1	125	
月計				3	1	125	1	1	128	2	2	235		6	4	488
総計	1	1	115	3	1	125	1	1	128	3	2	235		8	5	603

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第10表

令和元年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2				1	1	146	1			1			3	1	146
3															
4				1									1		
5															
6				2	1	109							2	1	109
7				1			1						2		
8	2	0	0				1						3		
9															
10															
11															
12															
13				1									1		
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23							1	0	0				1		
24	1	0	0										1		
25	1	0	0										1		
26															
27															
28	1	1	60				1			1	1	135	3	2	195
29															
30										1			1		
31															
月計	5	1	60	6	2	255	5			3	1	135	19	4	450
総計	6	2	175	9	3	380	6	1	128	6	3	370	27	9	1,053

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第11表 令和元年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月26日	東町	115	8月13日	3		79	20.86%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝 第1区:夜
				8月14日	3		80		
				8月15日	15	3	81		
				8月19日	3		85		
				計	24	3			
2	6月19日	塩原	115	8月21日	10	1	63	47.82%	第4区:朝 第4区:夕 第4区:夜 第4区:朝 第4区:朝 第4区:夜 第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				8月21日	7	1	63		
				8月21日	3		63		
				8月22日	4	1	64		
				8月23日	11		65		
				8月23日	6		65		
				8月24日	2		66		
				8月26日	5		68		
				8月27日	2		69		
				8月28日	1		70		
				8月29日	2		71		
				8月29日	2		71		
計	55	3							
3	6月20日	塩原	120	8月20日	66		61	66.66%	第4区:夜 第4区:朝 第4区:夕 第4区:朝 第4区:朝 第4区:夜 第4区:朝
				8月21日	3		62		
				8月21日	1		62		
				8月22日	3		63		
				8月23日	4		64		
				8月24日	1		65		
				8月27日	2		68		
計	80	0							
4	6月23日	七つ山	128	8月29日	11		67	8.59%	第3区:朝
				計	11	0			
5	6月30日	大山	125	8月28日	20		59	22.40%	第2区:朝 第2区:夜 第2区:朝 第2区:朝
				8月28日	2		59		
				8月31日	5		62		
				9月1日	1		63		
計	28	0							
6	7月2日	大山	146	8月31日	95		60	65.06%	第2区:朝
				計	95	0			
7	7月6日	浜岡砂丘前	109	9月2日	72		58	66.05%	第2区:朝
				計	72	0			
8	7月28日	東町	60	9月17日	6		51	10.00%	第1区:夜
				計	6	0			
9	7月28日	塩原	135	9月17日	3		51	2.22%	第4区:夜
				計	3	0			
10	8月3日	本町	131	9月19日	6		47	14.50%	第1区:朝 第1区:夜 第1区:夜 第1区:夜
				9月21日	1		49		
				9月22日	5		50		
				9月23日	7		51		
計	19	0							
合計平均			1,184		393	6	63.75	33.19%	

放流頭数	367
0%巢を除いたふ化率	33.19%

最大ふ化率	66.66%
最小ふ化率	2.22%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	0	0.00%	0	0.00%
70%以上80%未満	0	0.00%	0	0.00%
60%以上70%未満	3	30.00%	375	31.67%
50%以上60%未満	0	0.00%	0	0.00%
40%以上50%未満	1	10.00%	115	9.71%
30%以上40%未満	0	0.00%	0	0.00%
20%以上30%未満	2	20.00%	240	20.27%
10%以上20%未満	2	20.00%	191	16.13%
1%以上10%未満	2	20.00%	263	22.21%
0%	0	0.00%	0	0.00%
計	10	100.00%	1,184	99.99%

区名	巢数
第1区	3
第2区	3
第3区	1
第4区	3
計	10

第12表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
5月1日											
5月2日											
5月3日											
5月4日											
5月5日											
5月6日											
5月7日											
5月8日											
5月9日											
5月10日											
5月11日											
5月12日											
5月13日											
5月14日											
5月15日											
5月16日											
5月17日											
5月18日											
5月19日											
5月20日											
5月21日	22.0	21.9	22.4	22.4					19.3	18.9	22.2
5月22日	21.0	21.1	21.3	21.4					17.6	17.3	21.2
5月23日	22.2	22.2	22.4	22.4					16.6	18.5	22.2
5月24日	22.5	22.7	23.4	23.1					16.3	17.9	22.8
5月25日	23.2	23.4	24.1	23.9					17.4	20.2	23.6
5月26日	23.5	23.9	24.8	24.7					17.9	20.7	24.1
5月27日	23.6	24.1	24.8	24.4					20.4	22.2	24.2
5月28日	24.1	24.3	25.0	24.9					21.6	23.2	24.4
5月29日	23.4	23.5	24.1	24.4					19.1	20.3	23.6
5月30日	22.9	23.0	23.5	23.5					18.0	18.9	23.1
5月31日	23.6	23.7	24.4	24.4					18.8	20.1	24.0
平均	22.9	23.1	23.7	23.6					18.5	19.8	23.2

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第13表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
7月1日	25.8	25.7	26.1	26.1					23.5	23.7	25.9
7月2日	25.2	25.2	25.6	25.6					23.2	23.1	25.4
7月3日	24.6	24.7	25.0	25.1					22.1	22.1	24.9
7月4日	24.8	25.0	25.2	25.3					23.6	23.7	25.0
7月5日	24.8	24.8	25.0	25.1					22.9	23.1	25.0
7月6日	23.2	22.9	23.1	23.4					20.6	20.7	23.2
7月7日	22.9	22.8	23.0	23.0					22.5	21.4	23.0
7月8日	24.2	24.1	24.2	24.4					23.0	23.6	24.4
7月9日	24.5	24.5	24.6	24.8					21.1	22.6	24.7
7月10日	24.4	24.4	24.4	24.6					21.6	21.8	24.5
7月11日	25.2	25.4	25.5	25.7					22.2	23.6	25.6
7月12日	24.6	24.6	24.8	24.9					21.0	20.9	24.8
7月13日	25.0	24.9	25.2	25.3					22.6	23.5	25.2
7月14日	24.9	25.0	25.1	25.2					21.1	21.5	25.1
7月15日	24.4	24.4	24.5	24.6					22.7	22.9	24.6
7月16日	24.1	24.2	24.3	24.4					21.4	21.4	24.4
7月17日	24.0	24.0	24.1	24.1					21.5	22.2	24.2
7月18日	25.2	25.4	25.3	25.5					23.8	24.3	25.2
7月19日	25.9	26.2	26.2	26.3					23.7	24.3	26.2
7月20日	25.8	26.0	26.0	26.2					24.5	24.4	26.1
7月21日	26.3	26.3	26.6	26.7					24.0	25.1	26.5
7月22日	26.5	26.5	26.9	27.0					25.4	25.7	26.7
7月23日	26.5	26.6	26.7	26.8					23.9	24.5	26.7
7月24日	27.8	27.6	28.1	28.1					25.5	26.7	27.9
7月25日	28.4	28.3	28.9	28.9					25.8	27.0	28.6
7月26日	29.1	29.2	29.6	29.6					25.0	27.8	29.4
7月27日	28.9	29.1	29.3	29.4					26.7	26.1	29.1
7月28日	28.3	28.5	28.8	28.9					25.9	26.8	28.6
7月29日	29.3	29.5	29.7	30.0					26.7	28.4	29.4
7月30日	29.7	29.6	29.8	30.0					26.9	29.5	29.8
7月31日	29.9	29.9	30.2	30.4					27.1	29.9	30.0
平均	25.9	26.0	26.2	26.3					23.6	24.3	26.1

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第14表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
8月1日	30.3	30.4	30.7	30.9					27.3	30.7	30.7
8月2日	30.7	30.7	31.1	31.2					27.4	30.7	31.0
8月3日	30.5	30.7	31.2	31.3					26.9	30.3	30.9
8月4日	30.7	30.8	31.4	31.5					25.9	30.2	31.1
8月5日	31.0	31.1	31.5	31.6					27.3	30.8	31.2
8月6日	31.4	31.8	32.1	32.3					27.7	29.4	31.8
8月7日	31.2	31.4	32.0	32.0					27.0	31.1	31.4
8月8日	32.2	32.4	33.1	33.4					32.7	27.1	27.1
8月9日	31.8	32.0	32.7	32.6					27.1	30.2	32.1
8月10日	32.2	32.5	33.1	33.1					28.3	28.1	32.5
8月11日	31.2	31.2	32.0	32.2					28.0	27.7	31.9
8月12日	32.1	32.1	32.6	32.6					28.1	27.6	32.4
8月13日	31.5	31.7	32.2	32.6					27.9	28.6	31.7
8月14日	31.9	32.0	32.3	32.3					27.3	29.5	32.0
8月15日	30.4	30.6	31.0	31.0					27.7	27.3	30.6
8月16日	29.4	30.0	30.3	29.8					27.0	26.7	30.0
8月17日	30.0	30.3	30.7						27.6	28.3	30.2
8月18日	30.9	31.1	31.3	31.4					28.2	27.8	30.9
8月19日	30.3	30.2	30.3	30.6					27.3	28.4	30.3
8月20日	31.5	31.6	32.8	32.1					28.0	28.4	31.6
8月21日	31.5	31.6	31.8	32.1					26.2	28.3	31.7
8月22日	31.6	31.6	31.8	32.0					28.1	29.4	31.5
8月23日	31.4	31.5	31.8	31.9					28.2	30.6	31.5
8月24日	29.5	29.6	30.0	29.6					25.4	24.6	29.5
8月25日	30.0	30.0	30.3	30.4					24.8	26.8	30.0
8月26日	30.1	30.1	30.2	30.4					24.7	25.5	30.1
8月27日	30.3	29.9	30.0	30.5					24.2	23.9	30.0
8月28日	29.4	29.3	29.3	29.7					26.7	26.7	29.1
8月29日	28.6	29.0	29.0	29.0					25.9	25.8	28.7
8月30日	27.4	29.0	29.1	28.9					23.7	23.9	28.4
8月31日	27.3	27.6	27.5	27.7					24.2	24.3	27.6
平均	30.6	30.8	31.1	31.2					27.0	28.0	30.6

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第15表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
6月1日	23.3	23.5	24.1	24.1					18.2	19.6	23.6
6月2日	23.9	24.0	24.6	24.6					19.3	21.9	24.1
6月3日	23.3	23.4	24.0	24.0					19.4	19.8	23.5
6月4日	23.7	23.6	24.2	24.2					19.5	20.9	23.7
6月5日	24.2	24.1	24.7	24.8					21.0	22.3	24.3
6月6日	24.0	24.0	24.6	24.7					19.8	22.2	24.2
6月7日	25.1	25.1	25.8	25.5					21.6	23.8	25.1
6月8日	21.8	21.8	22.3	22.0					21.5	20.6	22.1
6月9日	23.5	23.5	23.8	24.1					21.0	22.0	23.7
6月10日	22.7	22.7	22.9	23.1					18.2	18.4	23.0
6月11日	21.4	21.3	21.6	21.8					18.4	17.1	21.5
6月12日	21.6	21.6	21.9	22.1					17.7	17.8	21.8
6月13日	22.7	22.5	23.0	23.0					19.1	19.7	22.7
6月14日	23.7	23.8	24.3	24.3					20.8	21.9	24.1
6月15日	24.0	23.9	24.4	24.4					18.5	19.4	24.1
6月16日	22.0	22.1	22.2	22.4					20.3	18.6	22.1
6月17日	22.8	22.8	23.3	23.5					18.5	19.8	23.2
6月18日	23.8	24.0	24.7	24.8					18.9	21.2	24.2
6月19日	24.1	24.2	24.6	24.7					19.6	21.6	24.4
6月20日	24.8	24.9	25.4	25.5					20.6	23.7	25.1
6月21日	25.6	25.9	26.3	26.4					23.1	24.9	25.9
6月22日	26.3	26.2	26.8	26.9					22.2	25.1	26.4
6月23日	25.6	25.8	26.3	26.4					23.0	24.9	25.9
6月24日	25.0	25.2	25.5	25.6					20.7	20.7	25.2
6月25日	24.8	24.7	25.1	25.3					20.2	20.8	25.1
6月26日	25.4	25.5	25.8	26.1					21.5	22.2	25.8
6月27日	26.4	26.3	26.8	27.2					24.1	25.9	26.6
6月28日	26.1	26.2	26.2	26.8					22.9	24.2	26.4
6月29日	26.6	26.4	26.9	26.9					24.0	24.8	26.6
6月30日	26.0	25.8	26.3	26.3					24.8	25.0	26.1
平均	24.1	24.2	24.6	24.7					20.6	21.7	24.4

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第16表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
9月1日	27.9	28.4	28.2	28.7					24.0	23.9	28.5
9月2日	28.9	29.0	28.9	29.4					26.2	26.5	29.1
9月3日	29.9	30.2	30.0	30.6					26.3	25.5	30.1
9月4日	30.5	30.6	30.4	31.0					25.4	25.5	30.7
9月5日	30.6	32.0	30.6	31.1					26.2	26.2	30.7
9月6日	30.4	30.6	30.6	31.1					26.3	26.2	30.7
9月7日	31.0	31.2	31.0	31.3					28.1	28.1	31.0
9月8日											
9月9日	29.4	29.7	29.3	29.9					28.3	25.7	29.5
9月10日	29.9	30.3	30.2	30.4					26.6	27.6	30.2
9月11日	30.7	31.3	30.8	31.4					28.0	27.5	31.0
9月12日	30.2	30.8	30.3	30.8					26.0	26.0	30.5
9月13日	30.1	30.4	30.2	30.8					25.4	25.4	30.4
9月14日	28.8	29.2	29.2	29.5					24.5	24.8	29.1
9月15日	29.0	29.2	29.2	29.5					25.7	26.5	29.2
9月16日											
9月17日	30.3	30.5	30.3	30.8					27.1	26.9	30.5
9月18日	30.3	30.4	30.5	30.8					26.0	28.6	30.4
9月19日	27.8	27.8	27.1	27.9					24.0	23.0	27.9
9月20日	24.7	24.0	24.2	24.5					23.0	27.9	24.7
9月21日	26.5	26.7	26.7	26.9					23.7	21.7	
9月22日	26.8	27.0	27.1	27.2					23.9	23.7	27.0
9月23日	26.4	26.7	26.5	21.8					26.7	25.3	26.7
9月24日	26.9	27.0	27.2	27.3					24.1	23.3	27.1
9月25日	25.4	26.4	26.3	26.5					21.7	27.4	26.4
9月26日	27.2	27.1	27.5	27.4					24.8	24.9	27.3
9月27日	27.4	27.6	27.3	27.4					23.7	23.5	27.5
9月28日	27.0	26.9	26.2	26.0					24.0	24.1	26.6
9月29日	26.7	27.1	27.0	27.5					23.1	22.8	27.0
9月30日	27.2	27.2	27.0	27.5					23.6	23.7	27.4
平均	28.5	28.8	28.6	28.8					25.2	25.4	28.8

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第17表

令和元年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
10月1日	27.5	27.5	27.4	27.8					29.0	24.5	27.5
10月2日	27.8	27.7	27.8	28.1					24.2	25.8	27.9
10月3日	28.2	28.0	28.0	28.5					25.1	25.1	28.3
10月4日	27.4	27.6	27.8	28.0					23.5	24.5	27.8
10月5日	26.3	26.4	26.7	27.1					20.2	19.0	27.0
10月6日	25.2	25.1	24.7	25.3					22.6	22.7	25.2
10月7日	25.8	26.0	25.8	26.7					22.1	20.6	25.9
10月8日	25.0	24.6	24.7	24.9					21.9	21.2	25.3
10月9日	25.1	24.9	24.6	24.8					26.1	22.2	25.3
10月10日	25.9	25.6	25.7	26.1					22.1	22.7	26.0
10月11日	25.6	26.1	25.6	26.2					23.6	23.7	26.5
10月12日											
10月13日	24.2	23.9	24.1	24.0					22.0	19.5	24.0
10月14日	24.1	24.5	23.8	24.0					22.1	22.3	24.6
10月15日	24.1	23.7	23.7	23.6					20.1	20.1	24.0
10月16日	23.4	23.0	23.2	23.5					18.8	18.3	23.5
10月17日	22.2	22.3	21.7	22.5					20.6	20.3	22.5
10月18日	21.6	21.4	21.6	22.0					19.5	19.6	21.5
10月19日	19.7	21.8	21.8	21.8					19.6	19.0	22.0
10月20日	21.8	21.6	21.9	21.9					19.8	20.3	22.0
10月21日	22.7	22.5	22.5	22.7					21.8	21.5	22.8
10月22日	19.3	19.1	18.9	19.0					19.8	19.8	19.7
10月23日	20.3	20.1	20.0	20.7					17.9	18.0	20.3
10月24日	21.5	21.3	21.5	21.7					21.5	20.6	21.7
10月25日	19.8	21.0	20.4	20.7					19.8	17.0	20.4
10月26日	21.0	20.9	20.8	21.2					16.5	18.9	21.1
10月27日	22.5	22.3	22.6	22.7					18.1	19.7	22.6
10月28日	19.9	20.2	20.1	20.1					19.6	19.6	19.5
10月29日	19.5	19.7	20.4	19.8					15.3	13.0	20.2
10月30日	19.2	18.5	18.7	18.6					14.7	13.4	18.7
10月31日	19.4	19.2	18.9	19.1					15.0	13.1	19.0
平均	23.2	23.2	23.2	23.4					20.8	20.2	23.4

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。



1 R元.8.8 初ふ化 7頭



2 R元.9.10 御前崎小学校子ガメ引渡し式1



2 R元.9.10 御前崎小学校子ガメ引渡し式2



3 子ガメ引渡し式後の飼育小屋への運搬風景



5 R元.10.31 ふ化場卵掘り起こし1



6 R元.10.31 ふ化場卵掘り起こし2

写真7 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子2

令和元年度 御前崎のウミガメ産卵観察会事業報告書

アカウミガメ産卵観察会は、御前崎の貴重な文化財である自然動物のアカウミガメや、その保護活動をPRすることにより生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図ることを目的に行っている。

期 日：7月21日(日)～7月28日(日) 8日間中5日間 実施

会 場：ウミガメふ化場・御前崎海岸(通称:下岬海岸)

参加者数：延べ160人

備 考：28日に1頭上陸、産卵無し。

第18表 アカウミがめ産卵観察会実績表

確認日	時間 20:00～	曜日	天候	上陸 場所	産卵 個数	発見 時間	甲長	甲幅	参加 人数	備 考
7月21日	21:50	日	曇	-	-	-	-	-	39人	-
7月22日	-	月	雨	-	-	-	-	-	-	雨天中止
7月23日	21:20	火	曇	-	-	-	-	-	9人	-
7月24日	21:40	水	晴	-	-	-	-	-	6人	-
7月25日	21:50	木	晴	-	-	-	-	-	46人	-
7月26日	-	金	雨	-	-	-	-	-	-	雨天中止
7月27日	-	土	雨	-	-	-	-	-	-	雨天中止
7月28日	22:00	日	曇	海藻場	0個	20:15	65cm	45cm	60人	1頭上陸、産卵無し



写真8 ウミガメ産卵観察会の様子

令和元年度 御前崎のウミガメ放流観察会事業報告書

アカウミガメ放流観察会は、子ガメを通じて保護活動をPRすることにより、御前崎の貴重な文化財であるアカウミガメを広く知ってもらい、生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図る目的で行っている。

○一般放流観察会

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	備考
8月23日	金	雨	-	-	-	天候不良・ふ化頭数少ないため中止(5頭)
8月24日	土	晴	-	-	-	ふ化頭数少ないため中止(4頭)
8月25日	日	晴	-	-	-	ふ化無し中止

○個別放流観察会

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	団体名
8月17日	土	晴	16頭	下岬海岸	32人	黒潮サッカースポーツ少年団
8月20日	火	晴	ふ化無し中止	-	-	さくらこども園
8月21日	水	晴	20頭	下岬海岸	14人	御前崎スマイルプロジェクト
8月22日	木	晴	8頭	下岬海岸	80人	北こども園



写真9 ウミガメ放流観察会の様子

(4) ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

令和元年度におけるウミガメの上陸頭数・産卵個数は、例年より著しく少ない結果となった。そのため産卵観察会を海岸環境保護により 8 日間から 3 日間に変更した。さらに天候不良により 1 日のみの実施となってしまった。また、放流観察会についてもふ化が見込めず日数を変更し 1 日のみの実施となった。御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場所）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

ウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、風や波の影響で海岸が侵食され続けているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励まし、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々はこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動にあたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真10 令和元年度に下岬海岸に上陸した前足を負傷したアカウミガメ

2 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」樹木剪定の現状変更

(1) 現状変更に至る経緯

市道新神子広沢線南側にある国指定天然記念物である白羽の風蝕礫産地内に所在する林の樹木の枝が、市道に張り出していることから、バスやトラックなどの車高の高い車が走行する際に木の枝が車に接触する危険がある。また、台風や強風及び落葉の時期には、樹木の葉が市道に落ち、その葉が湿って車の車輪がスリップする危険もあるため市道に張り出している樹木の枝を剪定する現状変更を行う必要があると判断され、令和元年10月29日付で管理責任者である御前崎市長から御前崎市教育委員会宛に現状変更許可申請書が提出された。

なお、御前崎市長は現状変更許可申請書を提出する事前に、土地所有者2名から樹木剪定工事を実施することについての承諾を得ている。

御前崎市教育委員会は、指定地内の市道に張り出した枝を剪定するのみで、地上に所在している風蝕礫の滅失や毀損などは無く、指定地の景観の変化も軽微であることから、文化財保護法(昭和25年法律第214号)第125条第1項及び文化財保護法施行令第5条第4項トに基づき令和元年11月7日付御教社第140号で許可した。

(2) 現状変更等の内容及び実施の方法

市道新神子広沢線に張り出している延長約120mの範囲の樹木の枝を3tクレーンの高所作業車等を利用して特殊作業員がチェーンソーなどで切除し、その枝を2tダンプに積んで搬出する計画である。なお、太い枝については、クレーンで吊りながら切除し、落とす際に指定地の風蝕礫に影響がないように気をつけて実施した。

なお、工事の事前に警察署と協議を行うとともに、道路管理者、市消防署、環境保全センターに届出を行った。剪定の期間については、市道新神子広沢線を片側通行とし、交通誘導員を配置して、交通の安全を図った。また、工事の際には御前崎市教育委員会の職員が立ち会った。

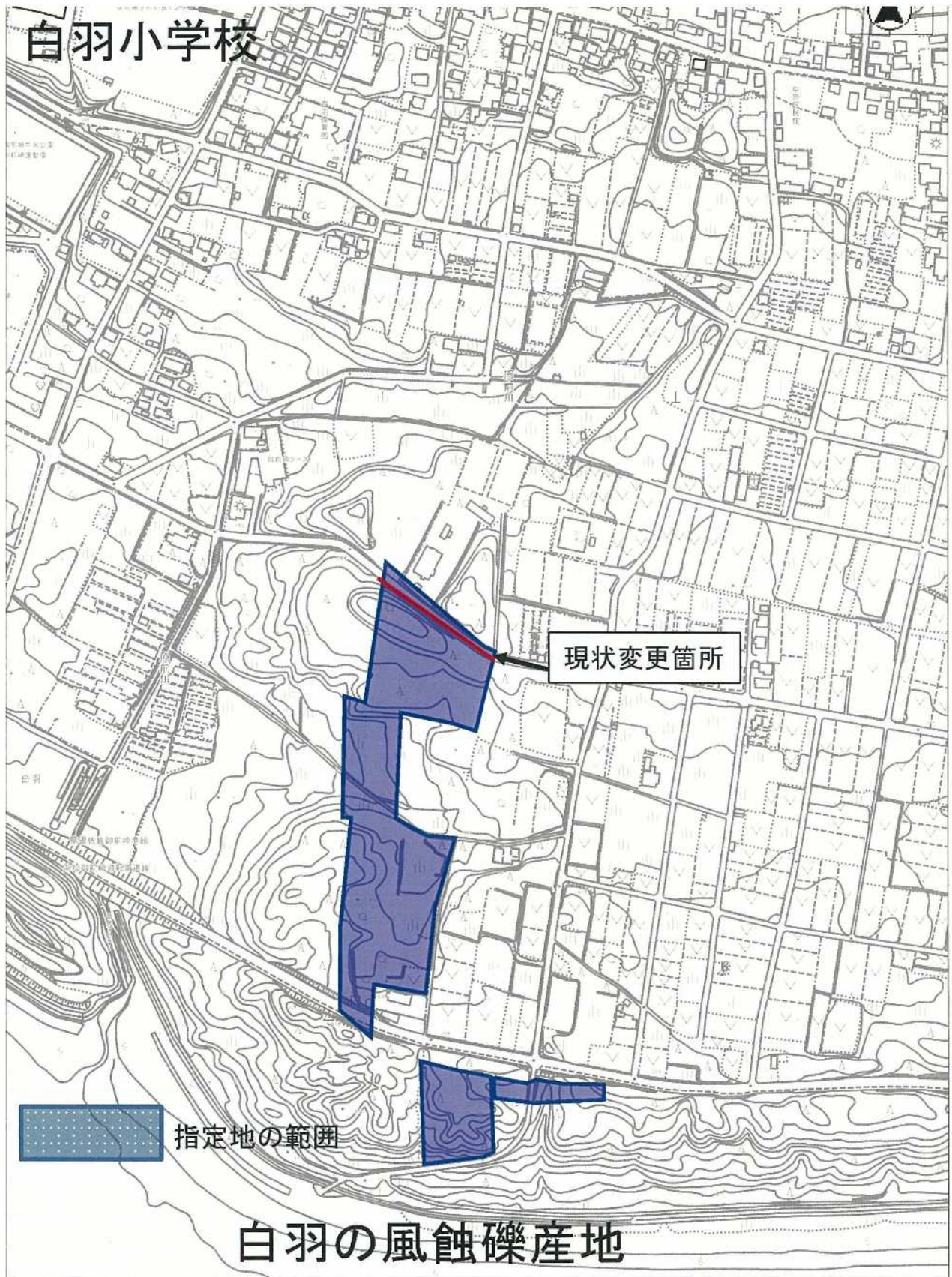


1 樹木剪定工事施工前



2 樹木剪定工事施工後

写真 11 白羽の風蝕礫産地の樹木剪定工事 1



第 13 図 白羽の風蝕礫産地現状変更箇所位置図



1 樹木剪定工事施工前



2 樹木剪定工事施工後



3 樹木剪定作業 1



4 樹木剪定作業 2



5 樹木剪定作業 3



6 除草作業



7 積込作業 1



8 積込作業 2

写真 12 白羽の風蝕礫産地の樹木剪定工事 2

3 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更

(1) 現状変更に至る経緯

令和2年2月25日に賀茂神社総代から連絡があり、現地を確認したところ、原因については不明であるが、大径木No.45の桧(胸高周囲176cm、高さ20m以上)の主幹上部が賀茂神社社務所がある西側方向に少し傾斜しており、根元から高さ7m位までの主幹に縦に幅30cm位の亀裂が出来ていることが確認された。

令和2年3月2日に管理責任者である御前崎市長より県指定文化財損傷届が御前崎市教育委員会に届出されたことから、静岡県知事に進達した。

そして、今後、強風などの影響で、大径木No.45の桧が賀茂神社社務所側に倒れて賀茂神社の建物が壊される可能性が懸念されるため、特殊伐採ができる専門の業者に発注し、大径木No.45の桧の伐採工事が計画された。令和2年3月9日付で管理責任者である御前崎市長から御前崎市教育委員会に現状変更許可申請書が提出され、令和2年3月13日に静岡県知事に副申とともに進達した。

令和2年3月13日付で、静岡県文化財保護条例第33条の規定に基づき静岡県知事により現状変更が許可された。令和2年3月17日に損傷により賀茂神社の建物に倒れる危険性がある大径木No.45の桧の伐採工事を実施した。

(2) 現状変更等の内容及び実施の方法

大径木No.45の桧を、特殊伐採ができる専門の業者により、周辺にある伐採予定の桧と同じくらい高い場所にある2本の樹木に、滑車を使用してワイヤーを回し、次にそれぞれのワイヤーの先端を伐採する桧にくくりつけ、空中にぶら下がった状態にして、根元から一定の間隔で切断していった。切断した桧の丸太については、他の樹木の肥料となるため現地に整理して置いて処理した。



1 社務所裏の損傷した桧(遠景) 2 社務所裏の損傷した桧(近景) 3 桧の伐採後の切株

4 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の維持の措置

(1) 維持の措置に至る経緯

御前崎市役所建設課の職員が平成30年7月28日に御前崎市に接近した台風12号による市内の文化財被害状況を平成30年7月30日に調査した結果、賀茂神社駐車場北側の調整池に5本位の樹木が折れて倒れている状態が発見されたことから、平成30年8月9日に県指定文化財損傷届を静岡県教育委員会に進達した。

そして、比木賀茂神社社叢駐車場北側調整池倒木撤去工事費用を平成31年度予算に計上し、令和元年6月1日に維持の措置として比木賀茂神社社叢駐車場北側調整池倒木撤去工事を実施した。



1 駐車場北側調整池の倒木被害状況



2 倒木撤去工事後の駐車場北側調整池

写真14 比木賀茂神社駐車場北側の調整池の倒木撤去工事



第14図 比木賀茂神社社叢の現状変更及び維持の措置の位置図

5 市指定有形文化財「千羽の鶴」の保存修復についての補助事業

市指定有形文化財の絵画「千羽の鶴」の所有者である駒形神社宮司より、平成31年4月19日付で「千羽の鶴」の修復についての文化財保存事業補助金交付申請があった。

その内容を審査した結果、総事業費の3分の2の補助金の交付が決定し、令和元年5月7日御教社第12号で所有者に通知した。

所有者である駒形神社宮司が保存修復専門の業者である静岡文化財研究所に委託して、令和元年5月19日から令和元年10月8日にかけて保存修復を実施した。

補助事業完了後、令和元年10月16日に文化財保存事業完了報告書の提出があった。これを受けて、補助金の交付を確定し、所有者に通知した。その後、所有者から文化財保存事業補助金請求書により請求があり、補助金の支払いを行った。

御前崎市指定有形文化財「千羽の鶴」の保存修復業務の結果については別紙の報告書のとおりである。



写真 15 市指定有形文化財「千羽の鶴」の近景(修復前)



写真 16 市指定有形文化財「千羽の鶴」(修復前)

令和元年度 御前崎市指定有形文化財絹本着色「千羽の鶴」保存修復業務結果報告書

1 業務の名称 令和元年度 御前崎市指定有形文化財絹本着色「千羽の鶴」保存修復業務

2 業務実施場所 静岡文化財研究所
静岡市葵区羽鳥7-10-13

3 履行期間 令和元年5月19日～令和元年10月8日

4 業務工程表

下記の工程により保存修復を実施した。

作業工程	令和元年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
事前調査	—					
クリーニング	—					
強化処理・剥落止め		—				
補填・整形			—			
彩色				—		
報告書作成						—

5 保存処理の内容

- ①事前調査 : 保存修復前の資料の状況を写真撮影し、記録する。
- ②クリーニング : 資料に付着する汚れや塵を古色を損なうことなく筆、綿棒、エタノール、純水などで除去する。
- ③強化処理
剥落止め : 膠水溶液を絵画面全体に塗布し、絵画層を強化する。
剥離部分、浮き部分を高濃度の膠溶液またはフノリ、デンプン糊等で下地と接着する。額・飾り金具はアクリル樹脂を塗布する。
- ④補填・整形 : 本紙欠損部は織り目、形、色を合わせ絹地を補填する。
本紙の旧肌裏紙を除去し、新たに美濃紙を施す。
木枠の旧裏打紙を除去し、新たに美濃紙を施す。
- ⑤彩色 : 本紙の欠損箇所および補填部分は膠で溶いた顔料またはアクリル絵の具で彩色し、周囲との調和を図る。
額は古い塗装面を除去し、カシュー塗料を塗布する。
飾り金具は銅箔を張る。
- ⑥報告書作成 : 保存修復後の資料の形状や状態を自然光で写真撮影し、使用した材料や方法等を記載した報告書を作成する。

6 保存修復する資料

御前崎市指定有形文化財絹本着色「千羽の鶴」・・・ 1点

7 その他

保存修復は現状保存を基本方針とする。
また、資料の梱包、輸送は当研究所が行う。

作業写真



作品の取り外し作業



作品の梱包作業



作品の裏側の状況(4枚の板で釘止め)



裏側の板を外した状況



木枠の裏打ち紙を取り外す



裏打ち紙を取り外した状況



木枠を取り外した状況



絵画部を取り外した状況



中裏紙の状況



旧増裏紙の除去作業



肌裏紙の補修作業(補紙による)



新たに増裏紙(美濃紙)を裏打ちする作業



木枠に二層目の裏打ちする作業



木枠を額に納めた状況



中縁(ちゅうべり)の取付作業



剥落止め作業(兎膠の塗布)



剥落止め作業(兎膠の塗布)



本紙(料絹)と肌裏紙との接着作業(デンプン糊)



本紙欠損個所に補絹する作業(絹地を染め型に切り取る)



本紙亀裂個所に和紙粉末膠を補填する作業



彩色作業



額の旧塗装面の除去作業



飾り金具のBTA処理(防錆)作業



飾り金具の銅箔貼り作業



飾り金具 修復前



修復後



飾り金具 修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復後 裏面



修復後 表面



作品の設置作業



作品の設置作業



修復前



修復後



修復前



修復後

千羽の鶴 追加情報の確認

イ) 市図書館・市指定有形文化財(絵画)の文献記載事項の確認

作者: 白峨乾

青峰山主 亮印

専門分野ではないので、インターネットで調べる程度しかできません。

白峨乾、亮印ともに検索できませんでした。

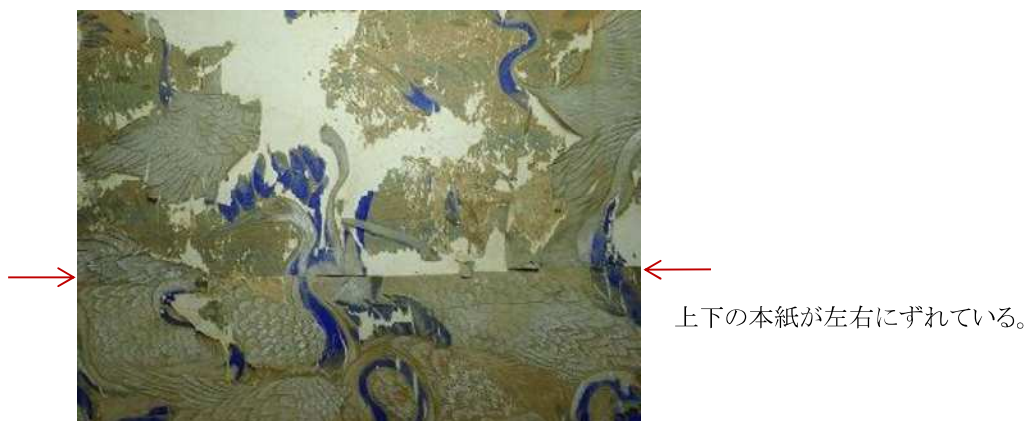
やはり、この件については、教育委員会に依頼するのが一般的ですが、解決しない場合は本人が動くしかありません。本当に知りたいものはなかなか手に入らないものです。

方法は、青峰山(正福寺)に調査に行くことです。おそらく、何らかの手掛かりは得られると思います。

ロ) 落款についても同様ですが、もう少しお時間をください。

ハ) 修復時の所見になります。

- ① 過去に修復が行われている。時期は昭和30年ころ(使用されていた新聞の年代から)と思われる。
- ② 過去の修復跡が明瞭に残っている。(本紙の張り合わせのずれ、彩色の跡など)
- ③ 過去の修復時に額装したと思われる。→本紙絵画部分が折りこまれている。
- ④ 額装前の形状は、横長であり、縦方向に分断した形跡がない、サイズのにも問題があり、屏風ではないと思われる。(当初は屏風かとも思っていました)
掛軸は縦長が一般的であるが、横長のものも存在するため、掛軸で良いのかもしれない。
- ⑤ 額に使用されたアクリル板について、昭和30年にはアクリル板は存在しているが、修復時と同時に取り付けたかは不明。アクリル板は別の時期に取り付けた可能性がある。
本紙の剥離した料絹(絹地)がアクリル板と本紙との間にほとんど残っていなかった。





○ : 補彩、加筆部分



○ : 補彩、加筆部分
: 白色部分は料絹が剥離欠損した箇所



折れ曲がっている箇所
下部に絵画部がある



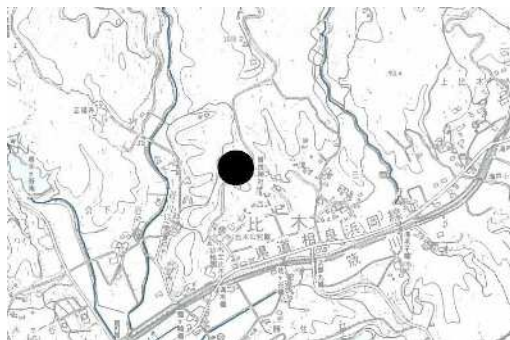
折れ曲がっている箇所
下部に絵画部がある

6 文化財看板の修繕工事

(1) 比木賀茂神社社叢標柱修繕工事

- 1 施工年月日 令和元年5月10日
- 2 施工場所 御前崎市比木 2815 番地
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

取替前の標柱は、比木賀茂神社社叢が県指定天然記念物に指定された平成8年度に設置されたものであった。設置されてから20年以上経過し、劣化が進んでいたため、修繕工事を実施した。



第15図 賀茂神社社叢の位置(1/25,000)



1 比木賀茂神社社叢標柱修繕前



2 比木賀茂神社社叢標柱修繕後



3 比木賀茂神社社叢標柱の修繕



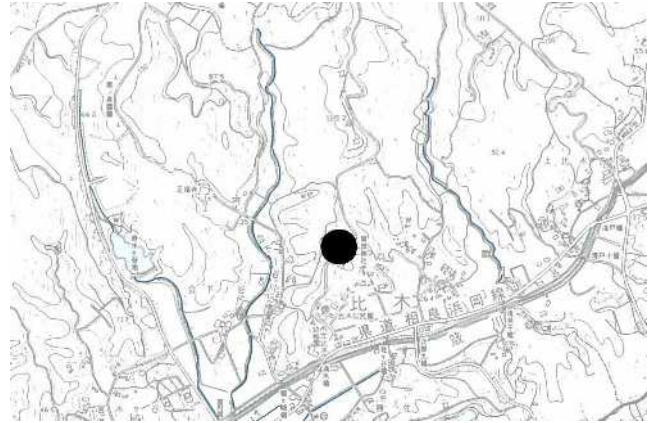
4 比木賀茂神社社叢標柱の文字修繕

写真17 比木賀茂神社社叢標柱の修繕工事

7 文化財防火デー

昭和24年1月26日に、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことから、この日が「文化財防火デー」と定められた。貴重な文化財を火災や震災などから守るため、この日を中心に全国各地で、文化財の防火訓練が行われ、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

御前崎市でも令和2年1月17日(土)に、県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の境内地において、消防本部、消防署、地元消防団、賀茂神社関係者及び市文化財保護審議会委員などが参加して放水訓練等が実施された。



第16図 賀茂神社社叢の位置(1/25,000)



1 賀茂神社宮司による初期消火訓練



2 ウォーターカーテンを使用した消防訓練



3 消防署員による放水訓練



4 消火器の使用訓練

写真18 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」での消防訓練風景

Ⅲ 文化財活用啓発活動

1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった小・中学校や公民館などに訪問して体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。

令和元年度は、平成30年度に引き続き浜岡東小学校PTAより埋蔵文化財出張授業の開催依頼があり、令和元年8月3日(土)の午前中に開催された「東っ子まつり」において、勾玉づくり体験と昔の火起こし体験の講座を開催した。

当日は、浜岡東小学校の児童やその父兄が来場し、勾玉づくり体験を13名、昔の火起こし体験を40名の方が参加した。



1 『東っ子まつり』会場の様子



2 勾玉づくり・昔の火起こし体験会場



3 昔の火起こし体験の様子



4 勾玉づくりの体験の様子

写真19 『東っ子まつり』における埋蔵文化財出張授業

2 市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設

(1) 御前崎市大産業まつりににおける埋蔵文化財体験学習

① 日 時 令和元年11月23日(土)・24日(日)

② 場 所 御前崎市役所西側通路

教育委員会社会教育課では、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育むことを目的として、御前崎市大産業まつりにおいて「原始工房 縄文屋」という名称で昔の火起こし体験、勾玉づくり体験ができるコーナーを開設した。

今年度は11月23日(土)に勾玉づくり体験コーナー、24日(日)に昔の火起こし体験コーナーを1日ずつ開催し、勾玉づくり体験が44名、昔の火起こし体験が63名の合計107名の子供や親子が参加した。

また、水野茂著(令和元年発行)『高天神城をめぐる武田系城砦群』の頒布も行った。



1 勾玉づくり体験ブース



2 昔の火起こし体験ブース



3 昔の火起こし体験の様子1



4 昔の火起こし体験の様子2

写真 20 御前崎市大産業まつり「原始工房 縄文屋」ブース

3 御前崎市文化財講座

(1) 朝比奈・比木地区の文化財講座の概要

御前崎市内には、古墳、横穴、中世城館や墓地などの埋蔵文化財や建造物、彫刻、絵画、史跡名勝天然記念物などの指定文化財が数多くある。

これらの御前崎市内の文化財を活用し、市民の文化財についての理解を深めるため「御前崎市文化財講座」を開設した。

昨年度開催した朝比奈地区の文化財講座の城館巡りが雨天で中止となったことから、今年度は比木・朝比奈地区の文化財講座を比木公民館及び朝比奈公民館との共催事業として開催した。

(2) 比木・朝比奈地区文化財講座の内容

○講演会会場 比木公民館 1階研修室 ○受講生 36名

○講座内容

回数	開催日時	参加人数	テーマ	講師
第1回	令和2年1月18日(土)	77名	中世城館講演会 「高天神城の攻防と比木の城」	静岡古城研究会 会長 水野 茂
第2回	令和2年1月25日(土)	25名	比木・朝比奈地区の城跡と 比木賀茂神社の社叢めぐり	静岡古城研究会 会長 水野 茂 比木賀茂神社自然公園 管理運営委員会 宮本 勝海

○文化財巡りコース 比木公民館→比木城山→比木殿ノ山→比木賀茂神社社叢→
あらさわふる里公園(昼食)→朝比奈城山→伝曾根屋敷跡→比木公民館



1 中世城館講演会の講師・水野茂氏



2 文化財講座の中世城館講演会の様子

写真 21 御前崎市文化財講座第1回中世城館講演会



1 水野茂講師による比木城山の説明 1



2 水野茂講師による比木城山の説明 2



3 水野茂講師による比木殿ノ山城跡の説明



4 宮本勝海講師による賀茂神社社叢の説明



5 宮本勝海講師による賀茂神社社叢の説明



6 水野茂講師による朝比奈の城山の説明

写真 22 御前崎市文化財講座第 2 回比木・朝比奈地区の城跡と比木賀茂神社社叢めぐり

4 静岡県埋蔵文化財センター巡回展共催事業の開催

静岡県埋蔵文化財巡回展は、静岡県埋蔵文化財センターの主催事業で、地域の人々への興味・関心を深めることを目的として、展示ケースを搬入し県保有の土器や石器、木器などを展示する事業である。

令和元年度は県西部地区の3会場で開催する運びとなり、浜松市都田図書館エントランスロビー(令和元年10月2日～10月30日)、森町文化会館ミキホール展示ギャラリー(令和元年11月20日～12月15日)、御前崎市文化会館ロビー(令和元年12月17日～令和2年2月2日)で開催された。

展示タイトルは「いつもそばに動物(きみ)がいた—出土品から知るヒトと動物の歴史—」である。展示内容は静岡県内から発掘された様々な動物にかかわる遺物を通して、各時代の人間と動物のかかわりを展示解説する。

主な展示資料としては、イノシシ形把手、鳥形土器、絵画土器(シカ・リュウ)、馬形土製品、カニが落書きされた硯などがある。また、展示遺物について分かりやすく解説するための解説パネルや名称や出土地などを表示するラベルなども展示されている。

御前崎市教育委員会は共催として、御前崎市文化会館ロビー会場の借用や取材依頼、御前崎ケーブルテレビ音声告知展示放送で宣伝するなど、主に広報活動について協力した。



写真 23 静岡県埋蔵文化財巡回展の全景

静岡県埋蔵文化財センター巡回展

観覧無料 **いつもそばに動物がいた** 

～出土品から知るヒトと動物の歴史～



動物彩土製品 掛川市原川遺跡

- 浜松市立都田図書館
令和元年10月2日(水)～10月30日(水)
- 森町文化会館ミキホール
令和元年11月20日(水)～12月15日(日)
- 御前崎市文化会館
令和元年12月17日(火)～令和2年2月2日(日)

※開館時間・休館日は各会場で御確認ください。



イラスト 鳥
カニ 西岡町仁田新遺跡出土硯より



センターHP



QRコード

●主催 静岡県埋蔵文化財センター
●共催 浜松市 森町教育委員会 御前崎市教育委員会
●問合せ先 静岡県埋蔵文化財センター 電話 054-385-5500

写真 25 巡回展のチラシ



写真 24 巡回展のごあいさつ



1 巡回展示風景 1



2 巡回展示風景 2



3 巡回展示風景 3



4 巡回展示風景 4



5 巡回展示風景 5



6 県埋文センター担当者による展示解説

写真 26 静岡県埋蔵文化財センター巡回展共催事業(御前崎市文化会館ロビー)風景

5 高天神城をめぐる武田系城砦群の刊行

静岡古城研究会の機関紙である「古城 63 号」に掲載されている水野茂氏が調査・研究した論文「高天神城跡をめぐる武田系城砦群—御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—」は、御前崎市の新野地区(篠ヶ谷砦跡・八幡平城跡・舟ヶ谷城山・天ヶ谷の城平・釜原城)、朝比奈地区(横舟城跡・朝比奈城山)、比木地区(城ヶ峰城跡・殿ノ山城跡・比木城山)の城砦跡についての内容であることから、抜刷を 100 冊印刷して、市内の関係機関に配布するとともに、社会教育課の窓口や、御前崎市文化財講座、大産業まつり「縄文屋」などで頒布した。

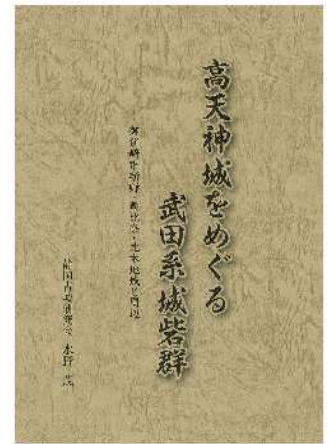


写真 27 抜刷の表紙

6 御前崎市古代史講演会の開催

(1) 御前崎古代史講演会の概要

2017 年放映の大河ドラマ「おんな城主直虎」で新野左馬助公役を演じた荻谷俊介氏による古代史講演会を開催した。この講演会は、市民が古代の御前崎市の歴史について学ぶことにより、地域学習や生涯学習の活性化につなげることを目的としている。

なお、講演会の当日に会場である池新田公民館のロビーにおいて、講演の内容に合わせて幡室古墳、幡室遺跡から出土した遺物や天ヶ谷古墳を含めた写真パネルなどの展示を実施した。

(2) 講演内容

荻谷俊介氏(俳優/日本考古学協会会員/京都橘大学客員教授)は、俳優業のかたわら、考古学の研究を志し、全国 30 箇所以上の発掘調査に関わる。特に奈良県の纏向遺跡や箸墓古墳の研究が有名であることから、御前崎市新野地区の大型古墳である天ヶ谷古墳や張り出し付き円墳である幡室古墳などの古墳及び市内に数多くある横穴墓、幡室遺跡などの古代遺跡が中央政権とどのような関係にあるのか講演していただいた。

- ①演 題 「中央政権と古代の御前崎市」
- ②開催日時 令和元年 9 月 28 日(土) 13 時 30 分～15 時 15 分
- ③会 場 池新田公民館多目的ホール
- ④参加者数 151 人



写真 28 講演会場の風景



写真 29 講師の荻谷俊介氏



写真 30 ロビーでの展示風景

7 歴史民俗資料の受領

(1) 個人からの歴史資料の寄贈

令和元年5月15日に御前崎市白羽新谷区八班の個人より、「白羽新谷区八班文献資料」の寄贈の申出を受けたので、御前崎市歴史民俗資料取扱要綱第3条に基づき事前に当該資料の調査を行った。その結果、このような、地区の班で保存されてきたこれらの資料については、現在まで寄贈されたことが無く、散逸を防ぐことを目的として受領する必要があると判断された。

そして、令和元年6月7日に御前崎市教育委員会へ資料寄贈申請書の提出があり、6月17日に資料を受領するとともに受領証を交付した。

第21表 白羽新谷区寄贈文献資料一覧表

表題(内容)	年代	備考
八組 第1號 基本財産台帳寫	昭和2. 3. 8～55. 3	
第八號 宇久々生濱山林台帳副寫	昭和6. 3. 21～55. 3	
組之控	昭和11. 10～33. 8. 14	
第八組覚	昭和31	
権記帳	昭和17. 4. 1～23. 6	
愛国貯金組合員名簿	昭和14. 7	
擔當隣組配給經過票		
自治製塩組合員連名簿		大東亞戦争(支那事變ヲ含ム)従軍者名簿
白羽村の農業協同組合員番号名簿	昭和24. 5	
宗心寺本堂再建寄附金第1～5回分領収書	昭和26. 3. 10～28. 3. 6	

(2) 個人からの歴史資料の寄贈

令和元年7月11日に御前崎市比木地区の個人より、「矢村宣昭の石碑から作成した拓本」の寄贈の申出を受けたので、御前崎市歴史民俗資料取扱要綱第3条に基づき事前に当該資料の調査を行った。矢村宣昭は、弘化元年(1844)12月20日、矢村家の長男として江戸本郷に生まれる。

明治2年、西山寺村(現相良町)に私塾を開き、その後比木村に開塾する。そして、本県や東京の教員を十数年務めた後、再び比木村に戻り矢村義塾を創立し、数多くの門下生が宣昭の教えを受けた。

この石碑は、大正12年に門下生が建立したものである。石碑には、矢村宣昭の経歴や業績などが記されており、上部にある篆額は、貴族議員の岡田良平氏によるものである。

拓本については、昭和30年代に東京都の大学の先生が拓本を行い、2枚作製した拓本の内1枚を、石碑を管理していた個人がお礼に貰ったものである。

現在、石碑は酸性雨などの影響で表面が劣化しており、拓本を作成することが難しい状況になってい

(4) 個人からの有形民俗資料の寄贈

令和元年9月3日に御前崎市門屋の個人より、「満期除隊記念盃(木箱入り)」の寄贈の申出を受けたので、御前崎市歴史民俗資料取扱要綱第3条に基づき事前に当該資料の調査を行った。その結果、近衛歩兵第一連隊や歩兵の第四三連隊・第八十連隊・隊八一連隊、三重の輜重兵などの兵士の満期除隊記念盃であることが判明した。入営し、厳しい軍隊生活を無事に終わった兵士は、記念盃を作り、縁者に贈って無事を祝ったと言われており、今回寄贈の申出があった満期除隊記念盃に様々な連隊のものがあつたことから、そのことが良く分かる資料といえる。

これらの満期除隊記念盃については、御前崎市教育員会では所蔵していないことから、今回寄贈の申出があつた満期除隊記念盃18点については、御前崎市の歴史民俗資料等として後世に保存する目的で、受領する必要があると判断された。

そして、令和元年9月12日に御前崎市教育委員会へ資料寄贈申請書の提出があり、9月25日に資料を受領するとともに受領証を交付した。



写真 34 個人から寄贈された満期除隊記念盃 18 点の集合写真

矢 村 宣 昭 之 碑

明治之初新頒學制詔州縣立中小學而濱松縣尤稱多良教師如太田地雲之於中泉矢村沖齋之於相良齋為鄉閭模範不可泯滅蓋其人皆以幕府道臣流寓地方抱負才學無所施展■約終身其志洵可悲已君諱宣昭號沖齋江戶人父曰谷右衛門世仕幕府君生數歲父祇役長崎母川端氏賢擇師而教之每晨與俱往在席後聽焉為以假字婦而令溫習至能背誦而後止君天資穎悟加以母氏督勵甚嚴年甫十二應昌平校試中高科後就安積良齋游■氣銳喜藏書當世人物為良齋所戒終身不復妄發及幕府廢移居遠州相良嘗聘為開成學校講師轉外國語學校高等商業學校在京二十五年辭職還鄉先是君為相良等小學校長鄉人萩原某建義塾於比木村復迎主講席君遂安之循循善誘至老不倦以大正四年七月病沒享年七十有二葬村北之原配森川氏先歿有子名克今為大阪川北電氣企業社支店長嗚呼余見世之司鐸者概多新進壯銳才智有餘而德量不足言行或不相敵適招生徒指斥猶何德化之望如君沒既數年遠愛在人近者又將立石以酬其德來請余文余嘉其能重古誼也乃據其行實略叙而與之

大正十年辛酉二月

東京青山鹽谷時敏撰文并書
從三位勳一等貴族院議員岡田良平篆額

山本匠石刻

るが、この昭和30年代に作成された拓本は、石碑の文字が鮮明に判読することができ、文字が無い部分が一部破れているものの保存状態が良好であることから、御前崎市の歴史資料等として後世に保存する目的で受領する必要があると判断された。

そして、令和元年7月16日に御前崎市教育委員会へ資料寄贈申請書の提出があり、8月7日に資料を受領するとともに受領証を交付した。



写真31 矢村宣昭の碑の拓本

写真32 矢村宣昭の碑の書き下し文

(3) 個人からの有形民俗資料の寄贈

令和元年8月6日に市外の個人より、御前崎市上朝比奈にある農作業小屋を9月から解体するので、その中にある民具で、御前崎市教育委員会に必要な民具があれば寄贈したいとの申出があった。

そのため、8月8日に現地調査に行き確認したところ、大正から昭和前期頃の農業用民具2点が比較的良好的な保存状況であったことから、御前崎市歴史民俗資料取扱要綱第3条に基づいて、事前に当該資料の調査を行った。

その結果、ナエカゴ(苗籠)とテゴテと呼ばれるドロヨケ(泥除け)は、両方とも文化財整理室に所蔵していることが判明した。

しかし、保存状況が良好であり、2点ともあまり大きなものではなく保管場所も確保できることから、御前崎市の有形民俗資料として後世に保存する目的で、受領する必要があると判断された。そして、令和元年8月16日に御前崎市教育委員会へ資料寄贈申請書の提出があり、9月2日に資料を受領するとともに受領証を交付した。



写真33 ドロヨケ(泥除け)とナエカゴ(苗籠)

8 写真資料の利用

(1) 前田印刷株式会社による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○ウミガメ 産卵観察会の写真	2点	住友生命の静岡ふるさとカレンダー7月号 に掲載	令和元年 5月20日

(2) 株式会社リクルートによる写真市利用の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○ウミガメ産卵観察 会の広報用写真	2点	「東海じゃらん8月号」に掲載	令和元年 5月30日

(3) 株式会社いき出版による写真資料の利用一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○砂丘清掃	1点	『写真アルバム 磐周・小笠の昭和』に掲載 するために利用	令和元年 6月11日
○池新田農業会	1点		
○旧浜岡町役場	1点		
○町制10周年記念 式典	1点		
○下水神社に集まる 屋台風景	1点		
○町内初の信号機設置	1点		
○池新田中町交差点 東側	1点		
○池新田 旅館相良萬前	1点		
○旧浜岡町役場前	1点		
○池新田 髪屋の理容店付近	1点		
○パレード	1点		
○佐倉 玄保交差点付近	1点		
○比木・矢口橋付近	1点		

(4) 国土交通省 御前崎港港湾事務所の写真資料の利用一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○浜小屋 ○ナブラ(魚群)を見つけ多くの漁船が集まる ○カジキマグロ釣り	1点 1点 1点	御前崎ポートフェスタ 2019 みなと御前崎スイーツコンテスト 2019 屋外ブースに出展するため	令和元年 8月13日

(5) 個人による写真資料の利用一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	紙芝居や集会で旧朝比奈小学校の青い目の人形を紹介したいため	令和元年 8月13日

(6) 株式会社しずおかオンラインによる写真資料の利用一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○アカウミガメ産卵地の写真	1点	昭文社発行のガイドブック「まっふる静岡'20」で紹介したいため	令和元年 8月2日

(7) 新沼企画の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○アカウミガメ産卵地の写真	1点	JTBパブリッシング刊「るるぶ静岡 清水 浜名湖 富士山麓 伊豆 20」で紹介したいため	令和元年 8月2日

9 歴史民俗資料等の貸出し

(1) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	平成31年4月12日～ 平成31年4月23日
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	令和2年3月13日～ 令和2年3月19日

(2) 御前崎市教育委員会学校教育課(白羽シニアスクール)への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
○風蝕礫	6点	御前崎市教育委員会	令和元年10月28日～ 令和元年10月29日

(3) 水神公園どんどんの会への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
○農業用扇風機	1点	御前崎市教育委員会	令和元年11月21日～ 令和元年11月29日
○足踏式脱穀機	1点		
○唐箕	1点		
○千歯抜き	1点		

(4) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	平成31年4月1日～令和2年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	平成31年4月1日～令和2年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	平成31年4月1日～令和2年3月31日
風呂鍬	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	平成31年4月1日～令和2年3月31日
水田除草機	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
唐箕	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
背負子	1点	新野	平成31年4月1日～令和2年3月31日
蓑	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
菅笠	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
藁草履	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	平成31年4月1日～令和2年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	平成31年4月1日～令和2年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	平成31年4月1日～令和2年3月31日
纏	1点	佐倉	平成31年4月1日～令和2年3月31日
ランプ	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
電話機	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
蓄音機	1点		平成31年4月1日～令和2年3月31日
合計	18点		

IV 指定文化財一覽表

1 国指定文化財

No.	種 別	名 称	所 在 地	所 有 者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6852-1他	御前崎市 他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	国	S55. 3. 6

2 県指定文化財

No.	種 別	名 称	所 在 地	所 有 者	指定年月日	指 定 号
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30	第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17	第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5	第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H 9. 3. 17	第599号

3 市指定文化財

No.	種 別	名 称	所 在 地	所 有 者	指定年月日	指 定 号
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25	第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25	第2号
3	史跡	星の糞遺跡(823㎡)	白羽2179-1他2筆	加藤英男他2名	S44. 6. 25	第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15	第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15	第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18	第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19	第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19	第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋	中山貞雄	S52. 2. 28	第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	本間 周	S52. 2. 28	第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	山本雅己	S53. 9. 4	第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂 保存会	S62. 10. 28	第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H 2. 5. 17	第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽	滝 朝夫	H 3. 11. 20	第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H 6. 1. 31	第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H 6. 1. 31	第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	H10. 3. 27	第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来 保存会	H10. 3. 27	第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	水野信幸	H10. 3. 27	第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1	第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1	第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25	第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い日の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 附:H26. 5. 26	第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社 保存会	H27. 12. 25	第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社 保存会	H27. 12. 25	第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25	第27号

V 文化財関係刊行図書一覧

1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『郷上のかおり一年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『早の糞遺跡発掘調査報告書』		

2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『日で見える 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品・版編)』
平成9年度	『郷上の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『桜ヶ池のお櫃納め』と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集—』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集『比木城山遺跡Ⅱ』	平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集『山田ヶ谷北横穴群』
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾『新野川流域の文化財』	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集『勝佐墳墓群』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾『幾川流域の文化財』	平成26年度	御前崎指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅺ』平成26年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅻ』平成27年度版
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版	令和元年度	高天神城跡をめぐる武田系城砦群—御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—

静岡県御前崎市
文化財年報XVI

令和3年1月20日

編集 静岡県御前崎市教育委員会
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL 0537-29-8735
FAX 0537-29-8737